

一般社団法人常盤工業会 令和3年度事業報告

令和3年度（令和3年4月1日より令和4年3月31日まで）における事業概要を以下に報告する。

I. 法人の状況

1. 会員の異動

(1) 令和3年度末の会員数

令和4年3月31日現在						
	会 員		正会員		正会員数の割合 (会費納入率)	
	会員数	前年度比	正会員数	前年度比	3年度	前年度
学生以外	25,935名	+455名	7,318名	-207名	28.2%	29.5%
学 生	2,965名	+7名	1,747名	-96名	58.9%	62.3%
合 計	28,900名	+462名	9,065名	-303名	31.3%	32.9%

(2) 令和3年度に死亡確認をした会員数 76名

2. 会議等開催状況

(1) 定時総会 令和3年5月20日（みなし決議）

令和2年度事業報告および決算報告について原案どおり承認された。令和3年度事業計画および収支予算について報告した。任期満了に伴う役員改選について原案通り決議した。

(2) 理事会 4回

令和3年4月27日（みなし決議）、令和3年6月4日（みなし決議）、令和3年10月26日（オンライン会議）、令和4年3月29日（オンライン会議）

(3) 監 査 1回

令和3年4月15日

(4) 役員会 6回

令和3年5月13日、令和3年8月26日、令和3年10月11日、令和3年12月16日、令和4年2月22日、令和4年3月22日

(5) 工学部との協議会 1回

令和3年12月7日

3. 会計状況

(1) 決算について

①事業活動収入総額は、前期比4,949,775円減の52,344,256円であった。内訳は以下のとおり。

- ・テナント「1・9亭」の契約解除により、テナント家賃収益が減少となった。
- ・終身会費について、新入生の納入率が減となり、全学年的にも減少となった。

②経常費用総額は、前期比3,586,515円減の42,687,610円であった。内訳は以下のとおり。

- ・工学部への支援金について、令和3年度より3,700,000円減とすることとした。
- ・令和3年度限定であるが、コロナ禍の学生支援として5,370,750円を支出した。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、昨年同様実施できなかった行事も多く、前期比に大きな変化はなかったが、オンライン機器の整備によりオンライン活動はある程度充実した。

(2) 令和3年度会費の状況

①年会費 3,396,000円（前年度 4,048,000円）

②終身会費 43,237,500円（前年度 47,050,000円）（対象者566人中270名）

〔令和3年度入学生(対象者)数に対する終身会費一括納入者・自払手続者数の割合は47.7%〕
参考：R2年度入学生51.7%、R1年度入学生62.6%

II. 事業活動

II-1 工学に関する教育研究の振興ならびにこれらに関する人材育成に資する事業（公益事業）

1. 講演会・講習会等の開催

(1) 常盤アドバンスドレクチャー 2021「未来を切り開く技術開発」

当初、都内の小規模会議室等からオンライン配信をする予定だったが、講師の先生方がそれぞれ自身の大学から配信されることになったため、常盤工業会会館を配信基地として第2回講座を以下のとおり開催した。（参加申込者数：114名）

開催日：令和3年10月16日（土）14：00～

主催：一般社団法人常盤工業会 共催：山口大学工学部

運営：実行委員会（委員長：柿本雅明（工化50））および関東常盤会

受講対象：山口大学工学部卒業生・学生

配信方法：Zoom・YouTubeによるオンライン配信

講座Ⅰ 14：30～『土砂災害は繰り返す～山大オリジナル「時間防災学」の推進～』

講師 鈴木素之先生（山口大学大学院 創成科学研究科（工学系学域）教授）

講座Ⅱ 15：30～『新型コロナウイルス感染症に対する大学のリスク管理』

講師 中村 修先生（筑波大学 環境安全管理室室長 教授（工化H7卒））

(2) 工学部ホームカミングデー「卒業生講演会」

令和3年11月開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため工学部単独でのホームカミングデーは開催されなかったため卒業生講演会は中止となった。

2. 講演会・講習会等開催に対する支援

「ちじょう IT 勉強会」の支援

「ちじょう IT 勉強会」（運営リーダー：知情 H27 越智 郁）が実施する勉強会『YUMeeTech2021 Online』（令和3年11月6日開催）に係る経費を助成した。（年2回の対面による勉強会を計画していたが、新型コロナウイルスの影響によりオンライン開催とした。）

3. 山口大学工学部の支援および連携事業

(1) 山口大学工学部への寄付

山口大学工学部教育支援（「常盤工業会奨学金」等の原資）として寄付を行った。

(2) 山口大学工学部との連携事業

令和3年11月に工学部ホームカミングデー行事を共催で取り組む予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため工学部単独でのホームカミングデーは中止となった。

4. 工学部学生支援事業

(1) 「常盤賞」表彰

令和4年3月3日に表彰式を行い、学業優秀者（学部生・博士前期課程学生）21名および工学系数学統一試験成績優秀者1名（学業優秀とダブル受賞）、計21名を表彰した（表彰対象は正会員）。受賞者には記念品（図書カード）を贈呈した。

(2) 学生が企画するプロジェクト活動の支援

「これであなたも未来の博士！～新たな発見をそえて～」(YY Chemicals)、「リアル桃鉄 YAMAGUCHI」（山口を元気にし隊）の2団体に活動費の一部を助成した。

(3) 「常盤祭」支援

新型コロナウイルスの影響により常盤祭は中止となった。

(4) 常盤キャンパスワンコイン朝食事業支援

工学部が実施する常盤キャンパスワンコイン朝食事業の支援として、山口大学生協・山口大学工学部教育後援会・常盤工業会が経費を分担して支出した。

(5) 新型コロナウイルス感染症の影響で生活が困窮している学生の経済支援

支援の内容や方法について工学部と協議し、在学生および令和4年度新入生に体温計を贈呈した。

II-2 会員交流親睦および相互啓発に資する事業（共益事業）

1. 会誌刊行事業

(1) 会誌「常盤」87号・88号冊子版、WEB版を7月、12月に発行した。

(2) 「会誌見直しプロジェクト」を発足し、全会員を対象に会誌に関するアンケートを実施した。

2. 学術文化交流振興事業

(1) 地域の留学生と日本人との交流

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、常盤工業会主催の第33回留学生交流会は中止とした。また、宇部留学生交流会主催行事もすべて中止となった。

(2) 対外支援

① 「宇部留学生交流会」の支援

新型コロナウイルスの影響に伴い、宇部留学生交流会のすべての事業活動が中止となったため、助成金の申請は辞退された。

② 「山口大学同窓会」の支援

- ・藤井会長が山口大学同窓会会長（令和3、4年度）に就任した。
- ・山口大学同窓会分担金支出を行った。
- ・理事会への出席、事業に対する協力（基金関連資料を会誌に同封、ヤマミィカードを卒業記念品一式に同封）を行った。

③ 「宇部環境国際協力協会」の支援

宇部環境国際協力協会の法人会員として会費を支払った。

3. 会員交流事業

(1) 地域同窓会交流事業

① 情報共有（地域同窓会と本部）

各地域同窓会と本部で必要に応じて会員情報の共有化を図った。

② 地域同窓会代表者会議の開催

令和3年11月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

③ 各地域同窓会の活動に対する支援

地域同窓会（29地域）に対し、活動費の支援を行った。

④ 交流活動（地域同窓会と本部、工学部）

新型コロナウイルスの影響を受け、各地域同窓会と本部や母校との交流活動はできなかった。

(2) 工学部ホームカミングデー

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、工学部ホームカミングデーは中止となり、交流活動はできなかった。

(3) 学生との交流

①入学時

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入学式は規模を縮小しての開催、保護者会は中止となったため、常盤工業会紹介リーフレット、会誌 86 号の保護者への配布はできなかった。入学生に対して、工学部を通じて会誌 86 号を配布した。

②年次学科別オリエンテーション

常盤工業会会館の紹介として「会館のしおり」を、工学部を通じて配布した。

③卒業時

学部卒業生に会長からの祝辞文を同封し、記念品（名入れボールペン）を贈呈した。また、事務局からのお祝い文、住所連絡用はがき、常盤工業会紹介リーフレット（地域同窓会紹介）等を卒業生、博士前期修了生に配布した。

④総会および地域同窓会代表者会議時懇親会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、総会および地域同窓会代表者会議は中止した。

4. 常盤工業会会館の有効活用および維持管理（収益事業・共通事業）

(1) 会館の有効活用

①貸室および宿泊施設

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、状況に応じて利用制限を行った。

②テナント

「1・9亭」との契約を解除した。（令和3年11月30日付）

(2) 会館施設の維持管理

西側駐車場境界塀改修工事（補強）は工事内容について隣家の同意を得られず、難航している。

III. 法人管理運営部門

1. 一般社団法人移行後の行政庁への対応

令和3年8月30日に山口県へ「公益目的支出計画の実施が完了したことの確認請求」手続きを申請（電子申請）した結果、令和3年10月25日付で山口県より確認書が届き、令和3年3月31日に公益目的支出計画の実施が完了したことが確認された。

2. 会員増強対策（住所把握・会費納入促進）の推進

①会誌、ホームページを活用してPRを行った。

②新卒者について学生時のメールアドレスを利用して工学部から住所連絡をお願いした。

3. オンラインで活動、より充実した情報発信を行うための整備

- ・テレビ会議を開催できる環境を整えるため、ディスプレイ、テレビスタンド、ノートPC、スピーカー、WEBカメラを購入し、各会議室にLANケーブルの接続口を増設した。また、令和3年8月よりZoomのプロライセンスアカウント（年契約）を取得した。
- ・ホームページのリニューアルについては、いくつかの業者で見積もりを取り、選定のための打ち合わせを進めている。

令和3年度事業報告書 付属明細書A

1. 令和3年度定時総会行事について

みなし決議としたので特記事項なし

2. 山口大学工学部の支援および連携事業について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため工学部ホームカミングデーは中止となったため特記事項なし

3. 工学部学生支援事業について

(1) 「常盤賞」受賞者（学業優秀者）21名

大野 竜弥(機械4年)、小林 研心(機械4年)、伊藤 泰壽(社建4年)、仲西ゆりか(社建4年)
草野慎二郎(応化4年)、中村 仁美(応化4年)、小脇 岳土(電電4年)、松井悠太郎(電電4年)
青木 元秀(知情4年)、藤本竜太郎(知情4年)、秋貞 朝(感性4年)、田中ひかり(感性4年)
河田 紘奈(循環4年)、葛谷 和弘(循環4年)
西原 健(M機2年)、児玉 貴央(M建2年)、久保山 祐(M建2年)、竹内 彩結実(M建2年)
武田 愛理(M化2年)、中生 拓希(M電2年)、満河 祐治(M電2年)、
藤本竜太郎(知情4年、数学統一試験、学業優秀とW受賞)

(2) 学生が企画するプロジェクト活動の支援

「山口大学おもしろプロジェクト」の審査に応募した4団体に案内したところ、2団体より申請があった。7月5日に面談を行い執行部で協議の上、以下のとおり助成を行った。

① 「これであなたも未来の博士！」YY Chemicals（代表者：山形 実穂） 221,443円

小中高校へ訪問もしくは遠隔による科学実験を通して、化学（科学）に関心をもってもらう。

② 「リアル桃鉄 YAMAGUCHI」山口を元気にし隊（代表者：辻辺 貴晃） 23,105円

テレビゲーム「桃太郎電鉄」を実際の鉄道を利用して行い、鉄道利用の啓発を促し、山口県の魅力を再発見する機会を提供する。

(3) 常盤キャンパスワンコイン朝食事業支援

令和3年11月15日から12月24日（土日祝除く）に実施。常盤工業会負担額280,642円
（利用者数4,218人、値引き総額841,780円）

4. 会誌刊行事業について

会誌「常盤」の発行部数および配布先

「常盤」87号 令和3年7月20日発行 84頁 22,000部

配布先：住所判明全会員、工学部教職員、在学生帰省先

「常盤」88号 令和3年12月20日発行 36頁 8,300部

配布先：住所判明正会員、工学部教職員、当年度新入生の帰省先、次年度新入生

5. 学術文化交流振興事業について

第33回留学生交流会（常盤工業会主催）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としたので特記事項なし

6. 地域同窓会交流事業について

(1) 地域同窓会代表者会議の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としたので特記事項なし

(2) 各地域同窓会活動に対する支援金内訳

付属明細書B

(3) 地域同窓会総会への参加者（本部役員、教員）

総会を開催した地域同窓会はなかったため特記事項なし

令和3年度 地域同窓会活動支援金内訳

(会費納入者数: 令和3年3月31日現在の常盤工業会データベースにおける令和2年度分会費納入者)

コード	地域同窓会名	前年度 会員数	①会員数	②会費 納入者	参考:②の 内終身会費 納入者	会費納入率 % ②/①	活動支援金額	備考
49	北海道	16	16	10	2	63%	5,000	活動休止中
	北海道地区	16	16	10	2	63%		
54	東北常盤会	31	31	10	3	32%	5,000	活動休止中
36	関東-機械	317	317	132	7	42%	66,000	
07	関東-資源・機材	138	138	49	0	36%	24,500	
26	関東-化学	379	379	129	15	34%	64,500	
37	関東-土木建設	325	325	118	8	36%	59,000	
42	関東-電気電子情報	369	369	108	22	29%	54,000	
44	関東-生産機械	89	89	27	0	30%	13,500	
	東日本地区	1,648	1,648	573	55	35%		
11	愛知	261	261	99	25	38%	49,500	
53	北陸	38	38	12	4	32%	6,000	活動休止中
	東海地区	299	299	111	29	37%		
01	関西-機械系	382	382	103	12	27%	51,500	
02	関西-資源系	114	114	28	0	25%	14,000	報告なし
03	関西-化学系	237	237	60	5	25%	30,000	
04	関西-土木系	273	273	92	9	34%	46,000	
05	関西-電気系	261	261	70	9	27%	35,000	
45	姫路	162	162	49	9	30%	24,500	
	関西地区	1,429	1,429	402	44	28%		
41	岡山	294	294	85	15	29%	42,500	
38	島根県庁	37	37	9	1	24%	4,500	
24	東広島	76	76	23	3	30%	11,500	活動休止中
35	呉	81	81	26	5	32%	13,000	
19	マツダ	227	227	55	17	24%	27,500	
27	日本製鋼所	42	42	15	5	36%	7,500	支援金辞退
46	広島ときわ会	137	137	59	4	43%	29,500	
31	三菱ケミカル	30	30	1	0	3%	500	
	中国地区	924	924	273	50	30%		
06	四国常盤会	18	18	8	1	44%	4,000	
47	四国常盤工業会	104	104	37	11	36%	18,500	
	四国地区	122	122	45	12	37%		
09	北九州	755	755	217	49	29%	108,500	
51	福岡	453	453	131	23	29%	65,500	
30	熊本	80	80	29	14	36%	14,500	
	九州地区	1,288	1,288	377	86	29%		
23	三新化学	11	11	6	0	55%	3,000	報告なし
34	徳山高専	13	-	-	-	-	#VALUE!	組織廃止
52	トクヤマ常盤会	68	68	12	1	18%	6,000	
56	東ソー常盤会	67	67	14	3	21%	7,000	
29	山口県庁	182	182	55	17	30%	27,500	
22	下関市役所	31	31	9	5	29%	4,500	
50	山口ときわ会	42	42	16	0	38%	8,000	
	山口県地区(宇部除く)	414	401	112	26	28%		
16	宇部地区合同	1,026	1,030	425	44	41%	212,500	
合計		7,166	7,157	2,328	348	33%	1,164,000	
							未送金額	-52,000
							送金額	1,112,000

宇部地区合同同窓会事業所

16	全体	1,034	1,030	425	44	41%	212,500
10	(宇部興産機械)	70	72	71	10	99%	
12	(セントラル硝子)	25	31	30	5	97%	
15	(新光)	27	30	9	2	30%	
20	(宇部市役所)	64	61	59	1	97%	
25	(宇部興産化学部門)	27	27	7	0	26%	
	(ほか)	821	809	249	26	31%	

